

挑む!

スポーツ用品「デサント」社員

吉野 佳さん(27)

着れば肌うるうる 女性の味方



札幌市出身。信州大学を卒業し、2013年にデサント入社。ウィンタースポーツの担当をへて、いまは女性4人の新規事業開発課に所属する。

「着て美肌叶える化粧品」がうたい文句のスポーツウェアのブランド「ウルウト」を立ち上げた。生地に含まれるリンゴ酸が肌を弱酸性に保ち、汗によるかゆみ、乾燥を防ぎ、うるおいをもたらす。ちゃんと化粧品の基準も満たしている業界初の衣料だ。生地は繊維メーカーの帝人が開発した。その良さが生かせる商品について議論を重ねた。ランニングウェアや部屋着の案も出たが、「女性に響く商品」という狙いからヨガに目をとめ

た。自ら試すと「汗をかいても肌がすべすべ」。売れる、と自信を抱いた。

大学では、「心地いい」「ワクワクする」といった感覚を脳波や心拍数などで数値化して製品づくりに生かす「感性工学」を研究した。入社3年目、姿勢を美しく見せる下着ブランドの担当に。すでに商品になっていた、土踏まずの形を維持して足の疲労を防ぐ靴下に着目し、普段着に合わせやすい色づかいやデザインの靴下をつくった。スポーツ用品メーカーでありながら、暮らしに根付いて健康を支える商品が開発できる楽しさに目覚めた。

今春、ウルウトが発売されると女性誌で注目され、売れ出した。いまはタクトップやパンツなどがあり、秋にラインナップを増やす。これからも女性に寄り添った商品を届けたい。

文・写真 新宅あゆみ

記者から

他のスポーツ向けウルウトも企画中。2020年東京五輪で選手に着てもらおう夢に向かって頑張れ。